

ねらい	<p>子どもの「遊び」「自然体験」などを題材に、外で身体を動かすことの楽しさや、他者とのコミュニケーションの大切さ、さまざまな体験に親子でふれあうことの意義を考える。</p>
-----	---

流れ・時間	主な活動	留意点
<p>導入 (10分)</p>	<p>○進行役の自己紹介 ○ワークのルールを説明 ○アイスブレイク ・グループわけ ・自己紹介</p>	<p>○温かい雰囲気をつくるよう意識する。 ○アイスブレイクを行うかどうかや自己紹介の長さは、全体の時間をふまえて自由に設定する。 ○進行役個人の見解に基づくアドバイスは避ける</p>
<p>展開 (10分)</p>	<p>ワーク1 個人 思ったことをワークシートに記入する グループ 思ったことを話し合う</p>	<p>○エピソードを読んで、子どもの普段の遊びの状況を記入するようながす。 ○意見交換の中で、自分の子どもの様子を話しながら、グループで悩みや課題を共有する。</p>
<p>(20分)</p>	<p>ワーク2 個人 思ったことをワークシートに記入する グループ 思ったことを話し合う</p>	<p>○子どもにさまざまな体験活動をさせている場合は、させてよかった体験を記入するようながし、あまり体験をさせていない場合は、させたいと思う体験を記入するよう伝える。書くのが難しそうであれば、親自身がしてよかった体験活動ややってみたい体験活動を記入するよう投げかける。 ○意見交換の中で、子どもの体験についてのさまざまな考え方を知り、実際の体験活動に興味を持ってもらえるような場にする。</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>資料シートの説明 グループ 思ったことを話し合う</p>	<p>○資料シートを配付し、読みあって感じたことを出し合う。</p>